

令和 7 年度 第 4 回県政モニターアンケート結果の概要について

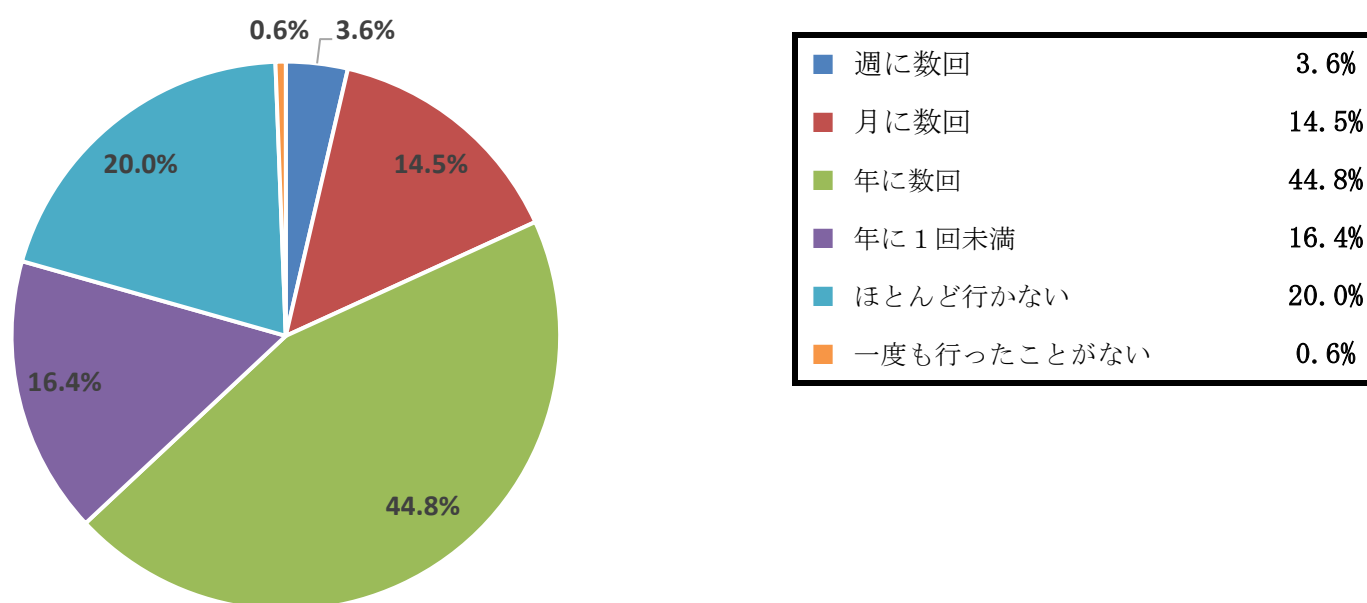
1 調査の概要

- (1) 調査期間 令和7年11月14日～令和7年11月28日
- (2) 調査方法 電子申請
- (3) 調査対象 県政モニター 199名
- (4) 回収数(率) 165名 (82.9%)
- (5) 調査内容 富山県内の海岸環境について(環境政策課)

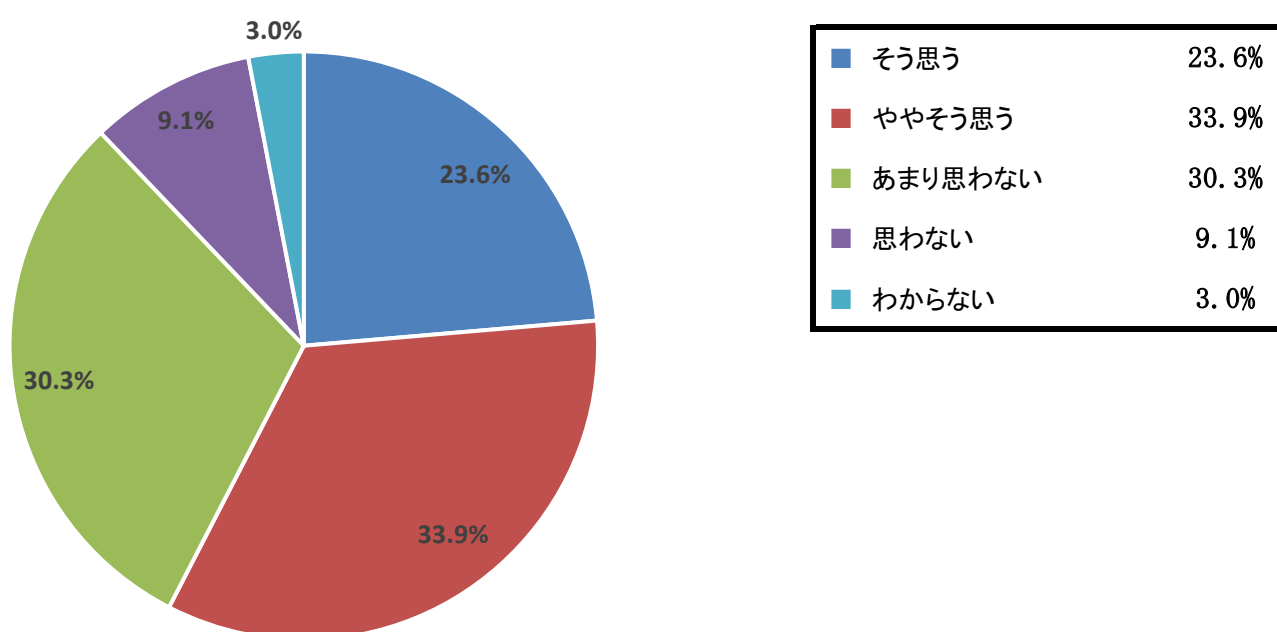
2 調査結果の概要

※回答率は、小数点第2位を四捨五入したため、合計が 100 %にならない場合があります。

問 1 富山県内の海岸へはどのくらいの頻度で行きますか。最も当てはまるものを選んでください。



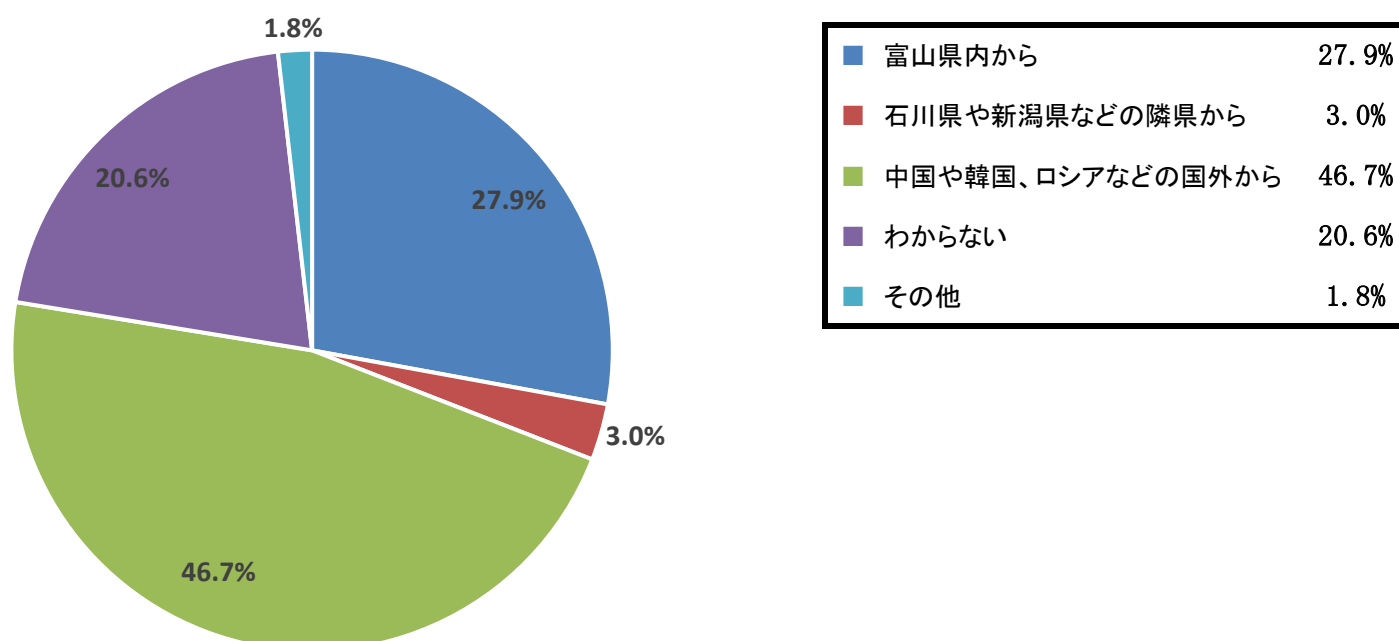
問 2 富山県内の海岸は、美しく誇れるものと思いますか。次の中から該当するものを1つ選んでください。



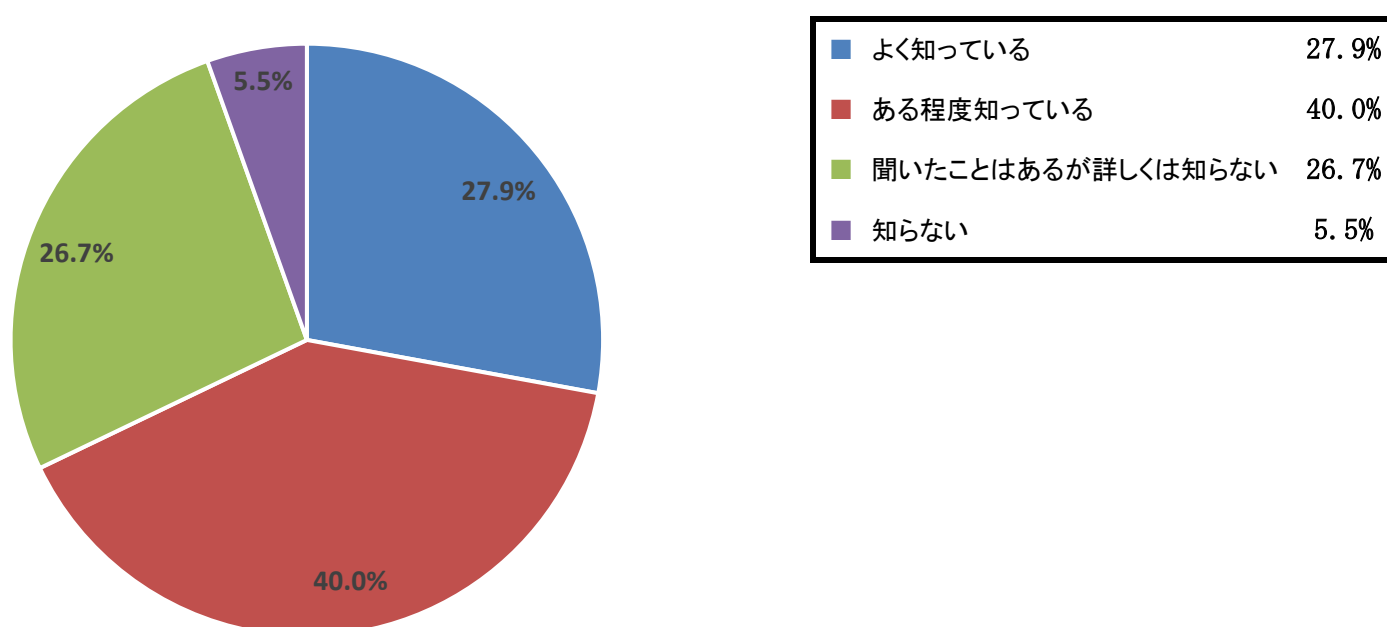
問3 問2で選択した理由を具体的にお聞かせください。（自由記述）

（省略）

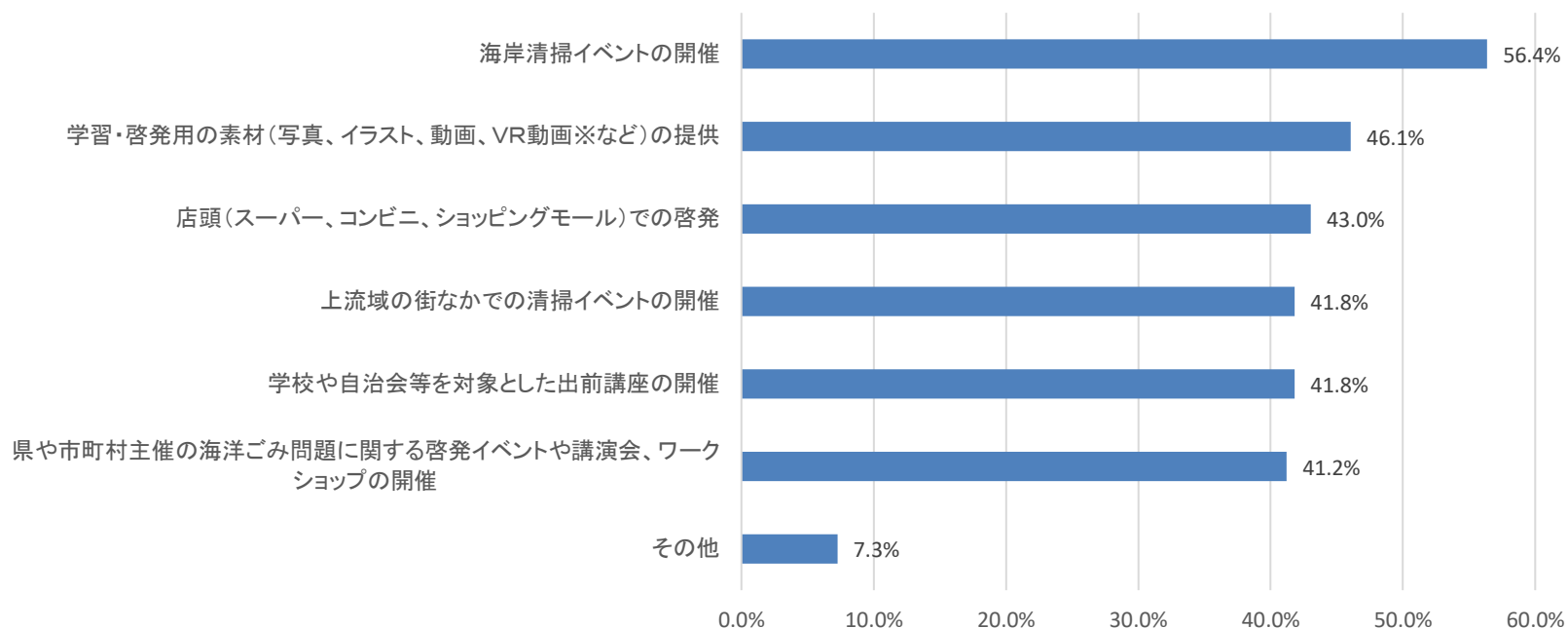
問4 富山県内の海岸に漂着するごみの多くはどこから流れてきていると思いますか。次の中から最も多いと思われるものを1つ選んでください。



問5 レジ袋やペットボトル、発泡スチロールなどのプラスチックが紫外線や波の力で5mm以下に細かく砕けたものを「マイクロプラスチック」といい、魚などの生物が餌と間違えて食べてしまうなど生態系に悪影響を及ぼすことが懸念されています。この「マイクロプラスチック」が県内の海岸にも漂着していることを知っていますか。次の中から該当するものを1つ選んでください。

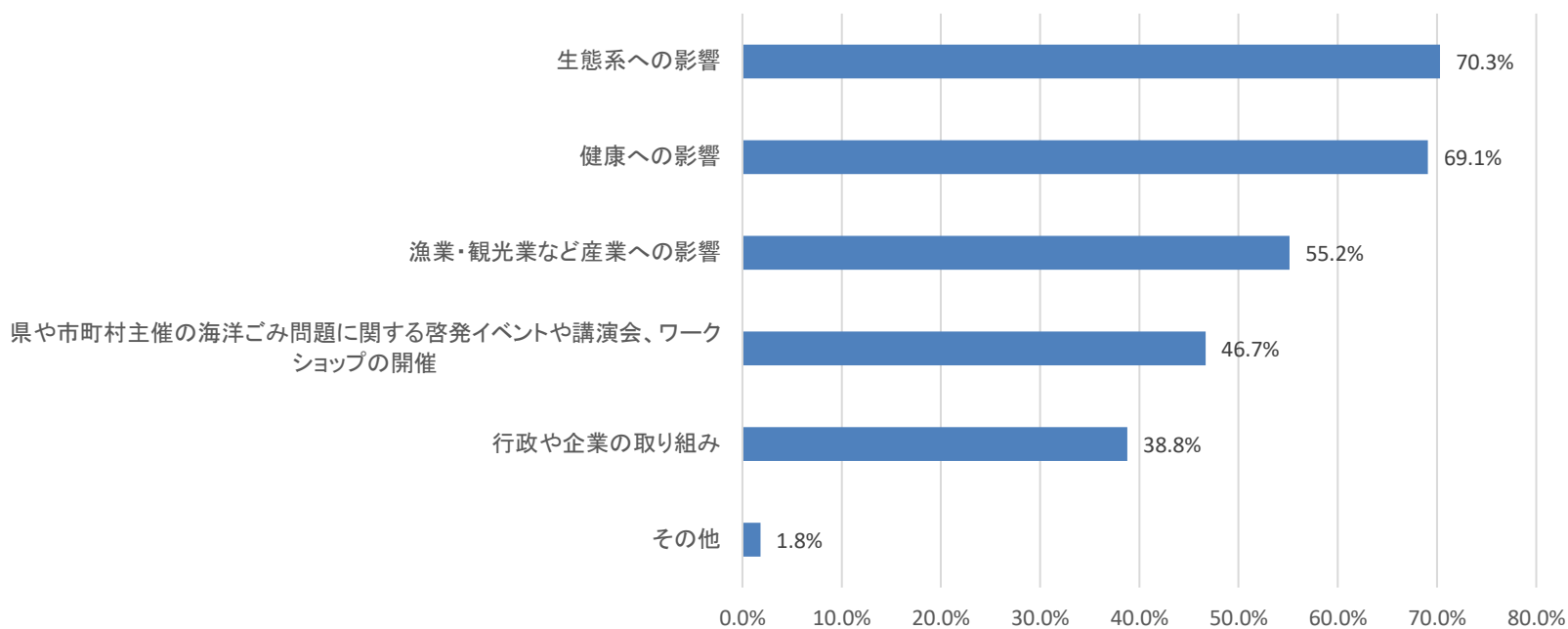


問6 富山県内の海岸に漂着する生活ごみ（マイクロプラを含む。）を減らすためには、沿岸域だけでなく、上流域の住民への一層の普及啓発が必要ですが、最も効果的だと考えられる施策を次の中から選んでください。（複数選択可）

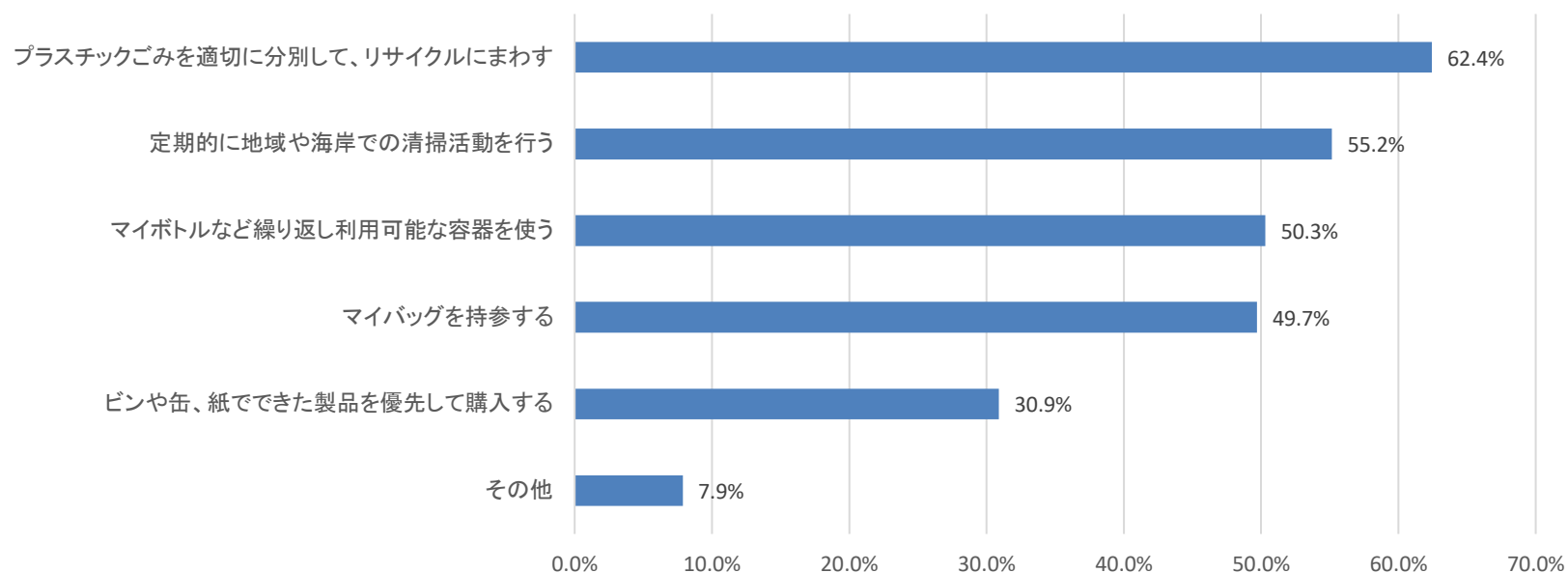


※河川から海へのごみの流出実態を疑似体験するもの

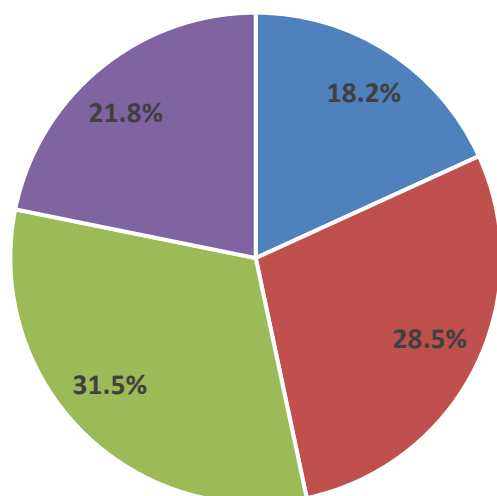
問7 富山県内の海岸に漂着するごみ（マイクロプラを含む。）問題について、今後さらにどのような情報が知りたいですか。（複数選択可）



問8 漂着物のうち人工物の8割以上はプラスチックごみであり、生活ごみと考えられるものが多く、海岸の景観悪化やイメージダウン、清掃をする沿岸住民の負担になっています。こうした状況を踏まえ、プラスチックごみを出さないように積極的に取り組んでいきたいことは何ですか。次の中から該当するものをすべて選んでください。（複数選択可）



問9 富山県内の海岸に漂着するごみには、上流域から河川を通じて流出したプラスチックなどの生活ごみも多く含まれており、上流域での取組みが大変重要となっています。この現状についてどの程度知っていますか。次の中から最も該当するものを1つ選んでください。



よく知っている	18.2%
ある程度知っている	28.5%
聞いたことはあるが詳しくは知らない	31.5%
知らない	21.8%